

授業科目名	疫学特論
科目番号	OATHF31
単位数	2.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋AB 火3,4
担当教員	我妻 ゆき子, 岩上 将夫
授業概要	疫学の原理と応用について学ぶ。情報科学や統計科学を用いて行われる疫学研究や臨床研究への応用についても学び、EBM (Evidence-Based Medicine) の研究に役立たせる。また、疫学的手法を用いた演習を実施し、疫学の実際を理解する。 目標:疫学研究の目的、方法、解析結果とその意義について説明できる。
備考	英語で授業。 対面
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	汎用コンピテンス：知の活用力 専門コンピテンス：公衆衛生学コア1:疫学応用能力
授業の到達目標（学修成果）	疫学研究の目的、方法、解析結果とその意義について説明できる。
授業計画	オンサイト (対面) で実施 第1回 (10月3日、3限) 研究をデザインする (講義) 第2回 (10月3日、4限) 研究をデザインする (演習) 第3回 (10月10日、3限) リサーチクエスチョン (講義) 第4回 (10月10日、4限) リサーチクエスチョン (演習) 第5回 (10月17日、3限) サンプルリングとリクルートメント (講義) 第6回 (10月17日、4限) サンプルリングとリクルートメント (演習) 第7回 (10月24日、3限) 測定方法:精度と正確性 (講義) 第8回 (10月24日、4限) 測定方法:精度と正確性 (演習) 第9回 (10月31日、3限) サンプルサイズとパワー (講義) 第10回 (10月31日、4限) サンプルサイズとパワー (演習) 第11回 (11月14日、3限) がんの疫学研究 1 (講義) 第12回 (11月14日、4限) がんの疫学研究 2 (講義) 第13回 (11月21日、3限) コホート研究をデザインする (講義) 第14回 (11月21日、4限) コホート研究をデザインする (演習) 第15回 (12月5日、3限) ケースコントロール研究をデザインする (講義) 第16回 (12月5日、4限) ケースコントロール研究をデザインする (演習) 第17回 (12月12日、3限) ランダム化比較試験をデザインする (講義) 第18回 (12月12日、4限) ランダム化比較試験をデザインする (演習) 第19回 (12月19日、3限) 質問調査法をデザインする (講義) 第20回 (12月19日、4限) 質問調査法をデザインする (演習)
履修条件	疫学概論を履修済みであること。
成績評価方法	期末試験 (70%) と研究プロトコール (30%) により評価する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	講義50%、演習50%。授業範囲を教科書にて予習し、授業後には復習すること。
教材・参考文献・配付資料等	1. Stephen B. Hulley et al., Designing clinical research, 4th edition, Lippincott Williams & Wilkins, 2013.
オフィスアワー等 (連)	我妻 ゆき子 随時、メールにて事前連絡

絡先含む)	医学系棟 433室 ywagats at md.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	OATHA11 疫学概論
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	TA有（1名）
キーワード	疫学，研究デザイン，研究プロトコール